

平成29年度 狭山市立笹井小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)学習指導	(2)生徒指導	(3)キャリア教育	(4)心の教育
(5)体力向上	(6)環境整備	(7)人権教育	(8)地域・家庭との連携

2 本年度の経営方針

- ・子供の良さを認め、やる気を引き出し、学ぶ喜びにあふれる学校
- ・児童・保護者・地域からの信頼、教員同士の円滑な人間関係を基盤とした学校

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	・学校経営説明会や保護者会等を活用してさらに学校教育目標の理解に努め、保護者の協力をさらに得られるようにする。
	2	保護者への浸透が図られたか。	B	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	B	・学校規模が小さいため分掌を複数担当している職員が多いので、仕事内容のバランスを考慮していく。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	B	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	・少人数指導を計画的に推進するとともに、授業にSSVC等の地域の教育力を活用して、学力の向上を図っていく。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	B	
4 学年学級経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか	B	・校内研修「学級経営を基盤として、読み取る力を伸ばす指導法の研究」を通じて「児童一人一人の気づく力の向上」をさらに進めて児童の学ぶ意欲を高める。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	B	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	B	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	B	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	B	
5 学習指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	B	・視聴覚・情報機器の活用について課題がある。今後、情報教育にも重点を置き、積極的に活用できるようにする。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	B	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	B	
	21	児童の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	B	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	B	
6 道徳教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	B	・学校公開日等で授業を積極的に地域に発信していく。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	B	
7 特別活動	27	全体計画を理解し、児童の自己決定の場が多く設定されたか。	B	・児童の自発的・主体的な活動を充実させるよう、計画を見直し、改善していく必要がある。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	B	
	29	児童生徒会活動などの特性が理解され、児童生徒の自己実現がなされたか。	B	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
8 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	・地域とともにできる学校行事を大切にしながら、地域の方々が参加できる行事を工夫したい。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	B	
9 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	B	・生徒指導・教育相談をより充実させ、個々の課題の共通理解が図っていく。 ・児童の自発的な清掃活動の充実を図る。 ・教職員・保護者・地域との情報連携・行動連携を密にし、課題や問題の早期発見・早期対応・早期解決に努める。
	35	職員に共通理解があったか。	B	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	B	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	B	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	B	
	39	児童が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	B	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	B	
41	不登校児童が出ないよう努力がなされたか。	A		
10 保健 ・ 安全 指導	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	B	・「生き生きタイムなど」など保健指導は充実してきている。「がん教育」などの今日的な課題を含め、さらに個に応じての指導の充実を図りたい。
	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	B	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	B	
	49	治療が必要な児童に適切に治療勧告がなされたか。	B	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
13 職員 会議	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	・下校指導等で会議の開始時刻が遅れた日があったので留意したい。
	52	給食指導が適切になされたか。	B	
	53	開始時刻が守られたか。	B	
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	B	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	B	
14 教職 員の 服務	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	・「笹井ふれあいデー6時セット」の日を定着させる 「チーム笹井」として、職員同士で助け合い・支え合い、学校教育を推進していく。
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	B	
	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	B	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	B	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
15 校内 研修	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	・ベテランが若手を育成する場になった。 ・研究への積極的な参加を促し、教職員一人一人の指導力の向上を図っていく。
	65	効率的職務遂行に努め、在校時間の縮減に努めたか。	C	
	66	研究主題が児童・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	B	
	67	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	B	
	68	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	B	
16 施設 設備	69	研究の結果、児童生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	B	・日々の安全点検を徹底し、瑕疵による事故0を当たり前のこととして捉え、施設設備の維持管理に努める。 ・笹井ダム清掃、バードウォッチング等の環境教育の充実を努める。
	70	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	B	
	71	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
	72	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	B	
	73	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	B	
17 学校 事務	74	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	A	・毎日、出勤簿・出席簿の押印、記入ができるようにしていく。
	75	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	B	
	76	環境整備にも積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	B	
	77	出勤簿は毎朝、押印されたか。	B	
	78	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
18 PTA 家庭 地域	79	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	・地域とともに児童を育む絆と体制をさらに強化していく。
	80	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	81	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
	82	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	
20 総 合	83	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	・総合的な学習の時間の年間計画を、地域・児童の実態を考慮して見直していく。PCの活用に努める。
	84	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	85	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	A	
	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	B	
	87	計画に沿って実施できたか。	B	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	B	